

平成25年度東部教育事務所管内協働教育研修会 <記録>

日時：平成25年9月19日（木） 13：30～16：30
会場：石巻市桃生公民館文化ホール

〔趣旨〕

- ① 家庭・地域と学校が協働して地域の子どもを育てる環境づくりを推進し、東部管内の協働教育の一層の活性化を図る。
- ② 地域の人材活用・教育力活用による協働教育が、学校や子どもたちへ与える効果を理解し、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育てる必要性和重要性の理解を深める。

〔参加者〕

教職員	PTA 関係者	行政関係者・社教委員等	計
68名	24名	29名	121名

〔概要〕

【開会の挨拶】 東部教育事務所長 星 豪

【講話】「協働教育がもたらす学校・家庭・地域の活性化」

講師：宮城教育大学教職大学院 教授 梨本 雄太郎 氏

* 「なぜ協働教育が必要なのか」という段階から一歩進み、学校やそれを取り巻く地域社会の積極的な取組の中から生まれる「協働教育の効果、可能性」等を、法的根拠や宮城県教委の取組みに照らし合わせながら御講話いただきました。

<参加者のアンケートから>

- ・協働教育にあたっての法律上の明記のされ方を知ることができ、宮城県特有のものだからこそ力を入れていきたいと考えさせられました。
- ・社会教育がめざすのもの…地域における子どもと大人の育ち合いを通じた震災後の社会をつくる「新しい公共」という考え方が胸落ちしました。



【事例発表】

- ① 「登米市学校・地域教育力向上対策事業の取組みについて」

登米市立米川小学校 教諭 渡邊宏紀 氏

- ② 「東松島市における市民センター活動」

東松島市教育委員会生涯学習課 主幹兼社会教育主事 渥美眞佐男 氏

* 学校サイドから見た協働教育の成果や課題、行政の立場で協働教育について今進めていることや課題など、具体的な例を挙げ発表していただきました。

<参加者のアンケートから>

- ・「できることから」という言葉の通り、米川小さんは地域の方々をうまく活用されていると思いました。
- ・復興を考えていくと、東松島市の取組みは、構造がはっきりしており、各センターの温度差を乗り越えていくことですので素晴らしい事業になると思います。



【閉会の挨拶】 東部教育事務所登米地域事務所 所長 大沼 透 （代理 次長 大場正浩）